

HSK NPO 法人「文福」ニュース



NO.211

冒頭の一言

(6)

木枯らしが吹く季節になりました。12月です。年の瀬も押し迫って、借金取りがうろつき始める月です。皆さん気を付けましょう。何に気を付けるかは人それぞれです。私今回、この公共の巻頭言の場を敢えてワ・タ・ク・シしようと思います。

かねてよりヘルパー諸氏の願望であり、私の切なる願いであった引っ越しを、10月末日を持って成し遂げました。不動産周りから手続きから片付けや引っ越しの後片付けに協力してくれた皆さんのおかげです。大工や電気の人も皆さんありがとう。

場所は水墨美術館に大分近くなりました。これから、私の文化度もグレードアップするのではないかと楽しみにしています。皆さん遊びに来ないでください。うそ。来たい人は勝手に来てください。これ以上書くと、またグダグダ無駄なことを書くなとお叱りがきそうですから、今回はこのくらいで。皆さん今年最後にニュースを手放さずに。じゃあね。

—もくじ—

冒頭の一言 … 1 県との話し合い報告 … 2-3 重度障害者の命の価値 … 4-6
 たぬきマスのお知らせ … 7-8 文福食堂 … 9-10 Penko … 11-12
 近代・現代の優生思想 八木勝自 … 13-15 運営会議報告 … 16 今後の予定 … 17
 ありがとう+編集後記 … 18

(1)

県民生活課との話し合いの報告

10月12日(水)県の県民生活課と話し合いをもちました。県民生活課が毎年富山と高岡で行っている講演会で、今年は「障害がある人の人権を尊重し県民皆が共にいきいきと輝く富山県づくり条例」が施行されたことから障害者関係にした内容で行われました。その講演会に参加しようと私たち文福の障害者スタッフが前もってノートテイクが準備されているか問い合わせました。

ところが、対応した係はノートテイクの存在すら知らないといった態度で、本番の講演会では手話通訳でさえ準備されてなかったことに抗議文を出しました。私たち障害者部会としては謝罪をされたかったわけではなく、障害者にとってのコミュニケーション手段をしっかりと確保してほしい、その為にはどういったことが必要かといった建設的な話し合いの場にしたいだったので。障害福祉課の同席もお願いし、県民生活課だけではなく、県の他の部署にも今日の内容を周知する役割をお願いしました。富山市の身体障害者協会の大西さんや県議会議員の奥野詠子さんにも話し合いに加わっていただきました。

冒頭県民生活課からは、障害者の方の問題を取り上げておきながら、ノートテイクや手話などを準備する事さえ念頭になかったことを平謝りといった状況で始まりました。私たちからは障害者や高齢者にとってコミュニケーションが取れないこと、話の中身が分からないことがどれだけ困ることが説明をしていきました。色々なコミュニケーション手段（手話や要約筆記、OTP、ノートテイク等）があり、その特徴なども説明していきました。ことにノートテイクについては、話している言葉を直接打つことから見ている側が話されている内容がつかみやすい事、これは耳の遠くなった高齢者だけでなく障害者にとっても分かりやすいコミュニケーション手段であるということを説明しました。県の方からは、前もって障害者の方が参加したいという旨を知ら

せてくれれば準備できた、というようなことを言い出しました。しかし、それは違うでしょうということで、県が主催するあらゆる県民対象の催し物には手話やノートテイクを付けるのが当たり前だと指摘しました。ただ、なかなかノートテイクが出来る人材がないのも事実です。

そこで、ノートテイクの人材を育成するために、県の方にノートテイクの事業化の話を提起しました。そのための機材としてパソコンなどを購入することを予算化し、事業の主体を富山市身体障害者協会にやってもらう、といった案を示しました。しかし、県の方はその場ではあまり乗り気がなさそうな反応しか示しませんでした。今後ノートテイクが必要になった時は協力していただきたい、と私たちに持ち出してきました。しかし、私たちはノートテイクが出来るスタッフが不足しているために出来る時と出来ない時があると言いました。そして私たちから改めて言語障害を聞き分けることが出来るノートテイカーを養成するといった事業への協力等を確認し意義ある話し合いをして終わっていきました。

(日下)

『重度障害者の命の価値』と『健全者の命の価値』は銀河系宇宙の果てまでの開きや距離の違いはあるのか

NPO 法人文福理事長 八木勝自

私がこれから書くことはいじめで自殺(いじめで殺された)した葛西りまささんの問題の論点とは少し違うことを書きます。その為まずここで葛西りまささんとその遺族の人にお許しを願いながらこの文章を書いています。

最初に上のページの新聞記事を読んでください。その記事は青森県黒石市で行われたお祭りの写真コンテストの「黒石よされ」を市が主催して一旦は内定していた写真を市がその 10 日後にいじめを苦にして自殺した葛西りまささんが被写体(写っている)となっているとの理由でその内定を一部の人や市長が「賞の主旨になじまない」との理由で「市長賞は該当者なし」としようとしたのですが、しかしそのことを知った葛西りまささんの家族や市民が「何故取り消すのか」とか市民からのメールなどでは「事なかれ主義だ」と批判が来てりまささんの遺族が写真や実名を公表してもらいたいと言ったため、市長賞は取り消されたという話です。また、市長は遺族に対して「市長賞ではなく他の賞で勘弁して欲しい」と言ったことに対してもりまささんの家族は他の新聞記事では「また娘に会えた気がした」、「娘が生きた証を知ってもらいたい」と匿名報道では事実がぼやけるので写真や経過説明の公開を強く望んだそうです。

そして次のページをご覧ください。私が度々この「障ちゃんニュース」に書いている今年の 9 月 26 日に、相模原市のやまゆり園で起きた障害者が 19 人殺傷された事件のことで、週 1 回発行している全国紙の福祉新聞の 10 月 10 日付の記事として「共に生きたい」障害者がパレード集会という殺傷された障害者の匿名報道のことが載っていて、その中で「俺(障害者)は 19 人さんではない。」というパネルを掲げて行進した障害者もいて私もその通りだと思いました。その人の人生やその人自身を否定するものだとも思っています。

つまり、この文章の前後のページの新聞記事を見比べると、重度障害者の命と健全者の命は地球の重さ以上に銀河系宇宙の果てから果てまでの差があるのかと思ってしまい、私は怒りとか悲しみを通り越して耐え切れない涙が出るほどの辛さと切なさを感じてしまうのです。私はこの障害者と健全者の命の差は世の中に蔓延っている優生思想のせいだと思っていますが、その障害者への差別と偏見を少しでも後々の世の中や社会に持っていきたくなく、改めてそういったものをなくしていく活動をいじめで自殺した葛西りまさんのこと同様になくしていかなければいけない活動や問題提起をしていかなければいけないと思います。

尚、この文章を書いた翌日にいじめで殺された葛西りまさんの事件のことで驚くべき事実が報道されたのでそのことについては次回「障ちゃんニュース」で書きたいと思っています。

火曜日の食堂

こんにちは、文福食堂をお手伝いしている鈴木です。

文福食堂を知っている人も知らない人も

食べに来たことがある人も無い人も

大勢おられると思うので説明させていただきます。

文福食堂は、火曜日の 12 時～1 時まで 1 時間だけ開いている食堂です。メニューは毎回替わり、お値段はなんと全メニュー ¥200！（一回の食堂では一つのメニューのみです。）

担当スタッフが毎回智恵を絞り予算と格闘しながら、それはそれは美味しいメニューを考えてくれます。それをお手伝いの私達が調理し、お料理に仕上げます。

啓子さんのメニューは家庭的で、ヘルシーでとってもおいしいんです。

武田さんのメニューは、オッシャレー！と想像していたらなんと、もこみちメニュー！武田もこみちでした。ざっ男飯！みたいなメニューもあれば、生春巻きあり、キーマカレーあり、お好み焼きあり、焼そばあり、季節によっては山菜の天ぷらや天然のなめこの味噌汁など盛りだくさんです。

ぜひ皆さん食べに来てください。

今日の夕飯何にしようかな？といつも頭を悩ませている私です。食堂担当スタッフのメニューに頭を悩ませる姿は、とーてもよくわかります。で、わたしは食堂のメニューをよくパクリます。

今日は鶏肉のさっぱりみぞれ和えとカニかまとコーンの入ったマカロニサラダにします。（啓子さんありがとうございます。）

なんだかんだと楽しい食堂です。

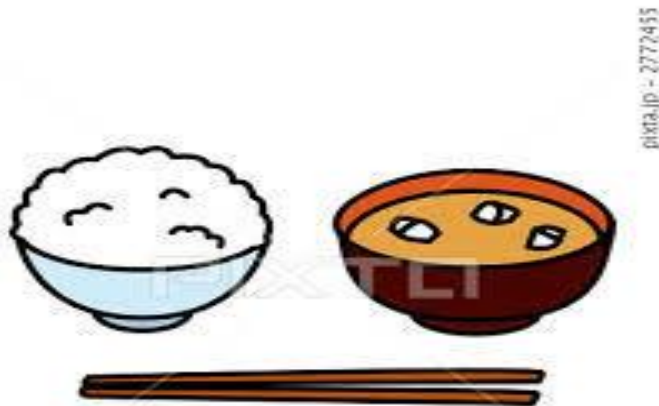
遊びにきてくださいね！お待ちしております。

で、来られた方はお手伝い是非よろしくお願いします。

みんなの文福食堂です。

（お料理をしたい方は 10 時半頃来ていただければできますよー・・・
久保さんからのコメントでした）

食堂担当は当番と言って障害者スタッフがしています。





Penko のおひとりさま
珍道中!! (part 2 2)

知らない方々には突然の話になりますが、10月で4年半働いていた職場を退職しました。

理由は、今年になってから頼りにしていた同僚が病気のため退職したこと。職場の方針が変わり、新しいスタッフが来たのだが、折り合いがよくなりノルマが課せられ適応できずに仕事へのモチベーションが下がり、そのまま上がることがなかったこと。パソコンするのが嫌になったくらい環境になじめなかったことで鬱になりかけた。所長さんには引き留められたが、心身ともに爆発寸前になって10月から休み、そのまま退職願を出した。

これを読んで「まだまだ甘い」と思われますか？

振り返って、あほうどり社の人撮った映画「明日の風」は私が働いていた証として残るので感謝しています。

はじめの2週間は家で寝込んでいた。何もかもやる気が起きず自暴自棄になっていた。日付や時間が経つにつれ少しずつ落ち着いてきて、気がついたのだが、施設にいた時からゆったりした時間を過ごしていなかった。このまま仕事もせず過ごしていいものだろうか
と自問自答しつつ、
周りに相談したら

「復帰できるまで充電期間だと思えばいいんじゃない？神様がくれた時間だと思えば」

というありがたーい言葉を頂いた。

現在は一週間の半分を家で過ごしており、今まで出来なかった大がかりな部屋の片づけや見たかった続き物のDVDを見たりしている。

11月に入り、職場から離職票が届いたのでハローワークへ行き失業手当の申請に行った。退職理由が「会社の倒産」「解雇」だとすぐに支給されるのだが、「自己都合」であるため支給出来るのが3か月後である。現在お金の悩みで頭を抱えているPenkoなのであります。



「近代・現代の優生思想とは」

NPO 法人文福理事長 八木勝自

私はこれまでこの「障ちゃんニュース」で今年の 7 月 21 日明朝に神奈川県立「津久井やまゆり園」でおきた障害者 27 名を殺傷した事件について植松容疑者が犯行に至った経過や背景や重度障害者の存在についてや殺傷された障害者の匿名報道のことなどを含めて 5,6 回の文章を書いてきました。そして今回、その最後としてどうしても「近代・現代の優生思想とは」を書かなくてはいけないと思っています。何故なら、これまでの戦後最大の人を殺傷した植松容疑者の犯行理由が意思疎通ができなかつたりすることや本人も周りも不幸にしているという優生思想の理由で犯行を行ったからです。

私はこの優生思想が導入されたり社会に徐々に広まっていったのは明治時代に資本主義と軍隊式の教育が導入されたからだと思っています。優生思想とは簡単に言うと、学校でも優秀で規律を律儀に守った方が成績が優秀で良いとか、社会では会社で優秀だとか、工場では普通の人より 1 つ物を作る時、2 つ 3 つ物を作ったりすることができるとか、スポーツでも人より速く走ったり、力が強かったり、人より優れていて、それによって社会的名誉や立場や財産、地位を得られるという思想のことです。優れたものを得られたり与えられる人などのことです。

しかし現在の優生思想は過去のものと違って定義する 3 つのことがいえると思います。その 3 つの優生思想の定義とは管理主義、効率主義、能力主義の 3 つです。障害者はこれまでは健常者に劣っている者として位置づけられて施設、在宅で隔離、管理され少ない職員で効率化され、能力主義によって振り分けられてきた。それは「健全者」にも時代を伴って進んできたと思っています。しかし、私がここで本当に書きたいことはそういう優生思想がこの言葉を使う人がいほど悪いものなのかということです。私はこの優生思想は悪い面

と良い面があると思っています。

まず、優生思想の悪い面は人を差別し優生思想によって立場・地位・財産・発言権が人々より得られるということです。またその特徴に現代では時間や空間などが管理主義や功利主義によって人々の自由を昔より必要以上に奪ったり束縛していることも近代の優生思想についていえると思います。そしてこれは優生思想の悪い面で反対だということです。つまり自分の持っている能力を個人的な欲望的な面などに使うか、人や社会のために使うかだということで、今の学校教育自身を人を蹴落とさねばいけないということで能力を個人のためだけに使うようになるとその個人が結果的には地位や社会的位置が得られるだけになっているのではないか。優越感や自分の立場を確保するために人々を差別することで(それは個人のことではなくて)国や民族の優秀さを比べて差別し、優生思想に従っていると思うのです。また時間や空間に対しても一昔前なら個人の空間を広げたり、個人の時間を自由にひろげていく結果となったことですが、今は個人の空間を狭めたり管理されたりして、時間も必要以上に個人の自由を奪っていると思うのです。確かに一定程度の規則や法律は社会には必要です。しかしながら、近代・現代の優生思想により必要以上の管理主義、功利主義によって管理的、功利的で人々の自由な人生や想像性を奪っているのではないかと私は思うのです。その個人的なものと人の社会のためというのは難しいものだと思いますが、各々の人が今の優生思想という言葉に代表されるはあまりにも人を差別したり迫害したり人々の自由を奪っていると思うのです。私の場合にも時たま「私は優生思想を持っていないし、優生思想で人を差別したりはしない」と言う人がいますが、そんな人に限って自分をごんじがらめにして自分自身を差別しているのです。人も動物ですから過去において優生思想を持っていなければ生きていけなかったこともあると思います。しかし、人と動物との違いは人は一人では何も出来ない事に気づき、人と人とができないことを助け合って生きていくようになったことも事実です。

自分のいた職場の「やまゆり園」に乱入し、障害者 27 名を殺傷し、その後すぐに重軽傷を負わせた植松容疑者も施設で働かなければそういった事件を起こさなかったと私は思っています。障害者施設というのは（今は少し違うようですが）障害者を管理、つまり隔離し、効率、つまり少ない費用と職員で障害者の面倒を見て、能力主義、つまり如何に施設としての能力を高めていくかということで、一例を挙げたら私の昔いた「やまゆり園」と同じような施設には、自分で食事ができない障害者のため朝食を 4 人の職員で 40 人に 1 時間半で食べさせるという離れ技をやらなければならず、植松容疑者もそのような場面に出くわし、それをやらなければいけないことにでくわすと複雑な思いにかられたのではないかと思うのです。私は、彼は社会が言ったり、思ったりするほど異常ではなく、私は植松容疑者を憎くてかなわないけど彼の責任は人生において細かなことも大きなことも選択肢を間違えたのではないかと思っています。（人はなにを食べるかとか、この後どうするかとかこの後寝るかとかこのお金で一ヶ月どう生きていこうかとか、そういうことを選択しているものです。）なんだかとりとめのないことを書きましたが、現代社会であまりにも優生思想で人々は自分の必要以上に自由を奪っていると思うのです。そういった今こそ考えるべきではないか、優生思想の悪いところを直して優生思想の良いところを発揮してこの優生思想という言葉を実質上無くしていきたいと難しいことだけど私は思っています。

運営会議報告 10月11日

★ 各部の報告

● 障害者部会

9月27、28日に「全国公的介護保障要求者組合」の総会と厚労省交渉があり、参加しました。講演会は「障害福祉とは基本的人権を保障することー65歳問題をとおしてー」という話がありました。

10月12日、県民会館にてノートテイクのことについて県と交渉があり、文福から障害者、介助者など含め9名参加しました。主催した県民生活課より、ノートテイクの配慮がなかったことに対し、謝罪がありました。

● 学習会

11月18日（金）「障害者はどう生きてきたか」八木さんのお話があります。19時より、文福事務所にて。

● 介護人派遣事業部

10月15、16、22日にザ・カイジヨがサンフォルテにて開催しました。

● レクリエーション

ためきマスについて動いています。ポスターとチラシは準備中。パンダの夕べは保留です。

● 障ちゃんニュース・まっち

11月中旬原稿締め切り。11月末に発送予定。

まっちは10月が締め切り、11月が発送。原稿は集まっています。

★ その他

ミニキャブの固定ベルトを操作するリモコンが故障。三菱に持っていきます。ブレーキのリコールは対象外です。代車は普通車で、車イス不可です。

富山市立西部中学校「13歳のワークショップ」、職業について紹介する講義が2月にあるので参加希望を出しました。

次回の運営会議日程 11月22日（火）です。

文責：坪田



◆今後の予定◆

このコーナーでは、文福と他団体の今後のお知らせを載せていきますので、チェックして、たくさんの方々にお越し頂ければと思います。よろしくお願ひします。

◎日時 12月18日<日>PM12:00~16:00

場 所 滑川市民交流プラザ多目的ホール

たぬきマス Live party

参加費 前売り券800円 当日券1000円

◎日時 12月23日(金)

場 所 NPO 法人ふらっと

クリスマス&もちつき大会

参加費 200円(3歳未満無料)

※ボランティア募集中(随時)

主 催 NPO 法人ふらっと(0766-56-6661)

◎日時 1月

場 所 文福事務所

もちつき大会

参加費 無料

◎日時 3月5日 9時30分~21時15分

場 所 富山高岡文化ホール 1階多目的小ホール

第6回地域福祉フォーラム in TOYAMA

参加費 3500円(夜の部のみ1,000円)※学生は無料

交流会費 1500円(希望者のみ)

主 催 NPO 法人とやま地域福祉ネットワーク(0766-54-6181)



ありがとう & 編集後記コーナー

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今後もよろしくお願いします。

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

12 月になり、もうすぐ初雪が降る季節ですね。後一カ月で一年が過ぎようとしています。今年もいろいろな事がありました。みなさんはどんな一年だったのでしょうか？

* 新規会員・継続会員 *

加藤 正之さま 中野 いくみさま 堀江 節子さま 水島 俊雄さま
矢賀 道子さま

* カンパ *

加藤 正之さま 河上 千鶴子さま 横山 順子さま

* 物品提供 *

上田 孝子さま 杉本 実さま 鈴木 美明子さま 田中 直美さま 山西さま
林 衛さま 長崎 マストウリさま 夢サポート・らいちょうさま

★☆☆☆☆☆ (アパッチ)

発行人：北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉 3 1 2

ぶんぷく

編集人：特定非営利活動法人 文福

〒930-0887 富山市五福 3734-3

e-mail: bunpuku@arrow.ocn.ne.jp

HP: <http://bunpuku.org/>

TEL/FAX (076) 4 4 1 - 6 1 0 6

定 価 50円

※文福の会員の方は、会費に購読料を含んでいます。